

# 奈良国立文化財研究所要綱

## I 事業概要

### 1 研究普及事業

#### 公開講演会

- (1) 1987年6月6日 第60回公開講演会  
「仏堂に於ける聴聞の場について」 山岸常人  
「平城京と和同開珎」 松村恵司
- (2) 1987年11月14日 第61回公開講演会  
「庭園と眺望」 本中 真  
「青蓋・青羊・黄羊・三羊」一鏡銘にみえる  
災異思想一 立木 修

#### 現地説明会

- (1) 1987年6月27日 平城宮第175次発掘調査  
(壬生門西の役所跡) 巽淳一郎
- (2) 1987年8月29日 平城宮第184次発掘調査  
(平城京左京三条二坊七坪) 玉田芳英
- (3) 1987年9月5日 藤原宮第55次発掘調査  
加藤 優

### 2 1987年文部省科学研究費補助金による研究

種 別	研 究 課 題	研究代表者	交 付 額
特別推進研究(2)	古年輪変動データの分析による考古歴史研究方法の確立	田 中 琢	8,000千円
一般般研究(A)	日本出土青銅器の材質分析による編年研究	町 田 章	600
一般研究(B)	日本考古学・古代史用語を外国語化し、その成果を国際的に広めるための基礎的研究	山 本 忠 尚	800
〃	発掘遺構による日本中世住居の復原的研究	宮 本 長 二 郎	1,400
一般研究(C)	条坊・条里研究史に関する資料収集とその研究—北浦定政を中心として—	岩 本 次 郎	1,000
〃	日本古代度量衡の考古学的研究	黒 崎 直	1,100
〃	中世食器組成の地域性に関する基礎的研究	安 田 龍 太 郎	1,000
奨励研究(A)	奈良朝律令体制下における土師器を中心とした窯業生産の展開とその流通の研究	玉 田 芳 英	900
〃	弥生時代における鉄器普及の意義	深 澤 芳 樹	800
研究成果刊行費 (データベース)	埋蔵文化財文献情報データベース作成	岩 本 次 郎	6,790
計	10件		22,390

### 3 飛鳥資料館の運営

#### 展 示

- 第一展示室 常設展示
- 第二展示室 春期特別展示「萬葉の衣食住」  
(1987.4.22～1987.5.31)  
秋期特別展示「壬申の乱」  
(1987.10.7～1987.11.23)

- (4) 1987年10月31日 石神遺跡第7次発掘調査  
大脇 潔
- (5) 1987年11月7日 平城宮跡第182次発掘調査  
(造酒司跡) 島田敏男
- (6) 1988年3月5日 平城宮跡第186次発掘調査  
(平城京左京三条二坊一・二・七・八・坪)  
井上和人

#### 平城宮跡資料館・遺構展示館

- (1) 秋季特別公開 1987年10月10日～11月8日  
見学者35,469
- (2) 見学者数

区 分	資 料 館	遺 構 展 示 館	計
1987年	53,411	68,030	121,441
累 計	835,898	1,154,273	1,990,171

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

#### 特別講演会

- 1987年5月2日 万葉の時代の衣服  
猪熊兼勝
- 1987年5月16日 万葉の時代の住居  
宮本長二郎
- 1987年5月23日 万葉の時代の食事  
佐原 真

- 1987年10月17日 壬申の乱と豪族達  
鬼頭清明
- 1987年11月7日 壬申の乱がもたらした寺々  
八賀 晋
- 1987年11月21日 壬申の乱の武器・武具  
小林謙一

## 普及

前年同様インフォメーションルームで観賞者の質問に応じている。また、特別展示の図録として「萬葉の衣食住」及び「壬申の乱」を刊行した。

入館者数(1987.4.1~1988.3.31 開館日数314日)

区分	普通観覧	団体観覧	有料	無料	合計
一般	48,401	22,797	214,332	12,473	226,805
高・大生	12,905	32,858			
小・中生	15,863	81,508			
計	77,169	137,361			

## 陳列品購入

- 高松塚古墳壁画女性衣服復原 1着  
胸椎肋骨複製 1個

## 4 埋蔵文化財センターの研修・指導

**研修** 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 昭和62年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(保存科学基礎課程)  
1987年4月14日~4月28日(参加者16名)
- (2) 昭和62年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(自然科学的年代決定法課程)  
1987年5月8日~5月11日(参加者19名)
- (3) 昭和62年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(遺構探査・予備調査課程)  
1987年5月19日~6月9日(参加者10名)
- (4) 昭和62年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(遺跡測量外注管理課程)  
1987年6月16日~6月18日(参加者35名)
- (5) 昭和62年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(報告書作成課程)  
1987年6月24日~6月26日(参加者36名)
- (6) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者一般研修  
(一般課程)  
1987年7月2日~8月5日(参加者25名)
- (7) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修

(遺跡保存整備課程)

- (8) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修  
(遺跡測量課程)  
1987年8月18日~9月5日(参加者20名)
- (9) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者特別研修  
(自然科学の産地同定法課程)  
1987年9月14日~10月6日(参加者20名)
- (10) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修  
(弥生時代遺跡調査課程)  
1987年10月13日~10月15日(参加者28名)
- (11) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修  
(環境考古課程)  
1987年10月21日~11月10日(参加者21名)
- (12) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修  
(埋蔵文化財情報課程)  
1987年11月18日~12月8日(参加者16名)
- (13) 昭和62年度埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修  
(埋蔵文化財情報課程)  
1987年12月15日~12月24日(参加者30名)

## 発掘調査・整備・探査指導

(北海道) 開陽丸, 津軽海峡線建設工事, (青森県) 津軽氏城跡, 根城跡, (岩手県) 見山廃寺跡, 毛越寺庭園, (秋田県) 払田棚跡, 上の山Ⅱ遺跡, 秋田城跡, (山形県) 押出遺跡, (福島県) 大戸古窯跡群, 慧日寺跡, 崎崎横穴群, 夏井廃寺塔跡, (栃木県) 足利学校跡, 飛山城跡, 聖山公園遺跡, 下野国府跡, 下野国分寺跡, (群馬県) 宇通遺跡, 上野国分寺跡, 大御堂遺跡, 黒井峯遺跡, (東京都) 前田耕地遺跡, (富山県) 安田城跡, (石川県) 河田山古墳, 能登国分寺跡, 石動山東林院庭園, (福井県) 鳴鹿手鳥遺跡, (岐阜県) 岐阜城, (山梨県) 天狗沢窯跡, 寺本廃寺, (長野県) 菖蒲平窯跡群, 上の山窯跡群, 高梨氏城跡, 松本城, 垣外遺跡, 高梨会館跡, (静岡県) 北江間横穴群, 勝間田城跡, 神明原遺跡, 元宮川遺跡, 横須賀城跡, 柏谷横穴群, (愛知県) 三河国分寺跡, 名古屋城, 日向山古墳, (三重県) 松坂城, 閑浄寺跡, 斎宮跡, 八反田遺跡, 伊賀国府跡推定地, (滋賀県) 高木遺跡, 四十九院遺跡, 大岩山古墳群, 二ノ宮神社庭園, 極楽寺庭園, 盛安寺庭園, 聖衆來迎寺庭園, 作谷窯跡, (京都府) 高麗寺跡, 大覚寺大沢池, 志高遺跡, 山城国分寺跡, 対龍山荘庭園, 慈照寺庭園, (大阪府) 難波宮跡, 池上・曾根遺跡, 三ツ塚古墳修羅, (兵庫県) 伊和中山一号墳, 鶴庄荘園遺跡, 姫路城, 大山荘園, 国領遺跡, 篠山城跡, 感状山城跡, 赤穂城跡, 姫

路城跡、戒野遺跡、玉津・田中遺跡、桜ヶ丘銅鐸・堂戈、有岡城跡、奥村廃寺、但馬国府推定地、小犬丸遺跡、中道子山城跡、吉田南遺跡、砂入古墳、西山古墳群、平方遺跡銅鐸、(奈良県)鳥ノ庄遺跡、飛鳥水落遺跡、纏向遺跡出土遺物、藤ノ木古墳、(和歌山県)利生護国寺境内、(鳥取県)瑞穂遺跡、上光遺跡、(鳥根県)荒神谷遺跡、(岡山県)津山城跡、美作国府跡、(広島県)大宮遺跡、草戸4軒町遺跡、寄倉岩陰遺跡、三ツ城古墳、(山口県)小野田セメント徳利窯、大内氏遺跡、萩城跡、延行条理遺跡、朝日田墳墓群、綾羅木郷遺跡、(徳島県)若杉山遺跡、洪野丸山古墳、(香川県)長尾寺経幢、讃岐国分寺跡、王墓山古墳、弘福寺領讃岐国山田郡田園、紫雲山遺跡、(愛媛県)古照G遺跡、来往廃寺跡、(福岡県)玉塚古墳、小郡遺跡、(佐賀県)谷口古墳、大黒町遺跡、名護屋遺跡・陣跡、(長崎県)鬼の窟古墳、(大分県)大分元町石仏、川部・高森古墳群、宇佐風土記の丘、(宮崎県)蓮ヶ池古墳群、(鹿児島県)指宿橋牟礼川遺物包含地、郷之原地区遺跡、(沖縄県)湧田古窯跡、フルスト原遺跡、新里村跡、今帰仁城跡、仲原遺跡、浦座遺跡、糸数城跡

- 埋蔵文化財ニュース刊行**  
 第58号 1986年度埋蔵文化財関係統計資料  
 第59号 わが国における古年輪学の現状  
 第60号 1985年度刊行埋蔵文化財発掘調査報告書に関する情報調査  
 第61号 埋蔵文化財に関するコンピュータ情報処理の現状  
 第62号 水田遺構集成

## 5 その他

### 委員会等

第14回飛鳥資料館運営協議会

1987年5月19日 於 飛鳥資料館  
 平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1987年6月18日・19日 於 平城宮跡資料館講堂  
 平城宮跡朱雀門調査研究会

1987年5月25日 於 小会議室

### 外国出張

鈴木嘉吉 メトロポリタン美術館の「日本美術ギャラリー」開館式に出席のためアメリカ合衆国へ出張

1987年4月19日～1987年4月24日

田中哲雄 造園・造景空間の歴史的展開の研究のためオーストラリア国、パプア・ニューギニア国、ニュージーランド国へ出張

1987年9月20日～1987年11月22日

田辺征夫 ギリシャ・ローマの古代都市と日本の古代都市の比較研究のためギリシャ国、イタリア国へ出張

1988年3月3日～1988年5月27日

### 協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1987年度の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積	金 額
1987年度	9,362.56	338,393,512
国有地合計	308,932.75	5,936,514,308

## 研修員一覧表

氏 名	所 属	受入れ期間	受 入 れ 室	研修指導内容
丹 羽 徹	三重県教委県外研修生 (三重県津志摩高校教諭)	1987.7.1～1987.9.30	平城宮跡発掘調査部	埋蔵文化財の発掘調査および保存について
東 浩 成	同 上 (三重県立四日市西高校教諭)	1987.7.1～1987.7.31	同 上	同 上
森 川 幸 雄	同 上 (関町立関小学校教諭)	1987.7.1～1987.9.30	飛鳥藤原宮跡発掘調査部	同 上
五 島 昌 也	佐賀県教育庁文化課文化財保護主事	1987.7.1～1987.9.30 1987.11.1～1988.1.31	平城宮跡発掘調査部	遺跡の保存整備について
佐々木 憲 一	ハーバード大学考古学科博士課程	1987.7.1～1987.8.31	平城宮跡発掘調査部	遺跡の発掘調査
別 府 洋 二	三重県教委県外研修生 (松坂市・多気町組合立多気中学校教諭)	1987.9.1～1987.9.30	飛鳥藤原宮跡発掘調査部	埋蔵文化財の発掘調査および保存について
信 立 祥	中華人民共和国歴史博物館員	1988.2.1～1988.2.29	平城宮跡発掘調査部	日本考古学の研究(発掘調査方法、測量、保存処理、情報処理等について)
王 巍	中華人民共和国社会科学院考古所助理研究員	1988.2.1～1988.2.29	同 上	同 上

II 図書及び資料

図書102,048冊 (1988.3.30)

区分	種別	購入	寄贈	計
1987	和漢書	1,398	4,697	6,095
	洋書	84	48	132
累計	和漢書	43,448	52,379	95,827
	洋書	5,260	961	6,221

写真 356,674点 (1987年度末現在)

III 研究成果刊行物

1. 1987年度刊行物

図録 第17冊 万葉及衣食住

第18冊 壬申の乱

報告書等 昭和62年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報

飛鳥・藤原宮発掘調査概報18

平城宮発掘調査出土木簡概報19

飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報8

第26冊	平城宮発掘調査報告Ⅶ
第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ
第28冊	研究論集Ⅲ
第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976 第30冊	五条一町並調査の記録一
1977 第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ
第32冊	研究論集Ⅳ
第33冊	イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
第34冊	平城宮発掘調査報告Ⅸ
1978 第35冊	研究論集Ⅴ
第36冊	平城宮整備調査報告Ⅰ
1979 第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ
第38冊	研究論集Ⅵ
1980 第39冊	平城宮発掘調査報告Ⅹ
1981 第40冊	平城宮発掘調査報告ⅩⅠ
1984 第41冊	研究論集Ⅶ
第42冊	平城宮発掘調査報告ⅩⅡ
第43条	日本における近世民家(農家)の系統的発展
1985 第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告
1986 第45冊	薬師寺発掘調査報告

奈良国立文化財研究所史料

2 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢Ⅱ
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
1961	第11冊	院家建築の研究
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊	レースと金亀舍利塔に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査
	第18冊	小掘遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集Ⅰ
1973	第22冊	研究論集Ⅱ
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並等報告一
1975	第25冊	平城京左京三条二坊

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺叙尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録一近畿古代篇一
1985	第28冊	平城宮木簡四 図版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第一巻

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名 称
1973	第1冊 瓦編1 解説
1974	第2冊 瓦編2 解説
1975	第3冊 瓦編3
1976	第4冊 瓦編4
	第5冊 瓦編5
1978	第6冊 瓦編6
1979	第7冊 瓦編7
1980	第8冊 瓦編8
1983	第9冊 瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名 称
1976	第1冊 飛鳥白鳳の在名金銅仏
	第2冊 飛鳥白鳳の在名金銅仏 銘文篇
1977	第3冊 日本古代の墓誌
1978	第4冊 日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊 古代の誕生仏
1979	第6冊 飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊 日本古代の鸕尾
1981	第8冊 山田寺展
1982	第9冊 高松塚拾年
1983	第10冊 渡来人の寺—桧隈寺と坂田寺—
	第11冊 飛鳥の水時計
	第12冊 小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊 藤原宮—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊 日本と韓国の塑像
	第15冊 飛鳥寺
1986	第16冊 飛鳥の石造物

Ⅳ 定員

区 分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1987年度	1	23	4	63	91
1988年度	1	23	3	63	90

Ⅴ 予 算 (1987年度)

人件費	542,452千円
運営費	700,940
事業管理	5,178
一般研究	55,890
特別研究	4,111
発掘調査	462,065
宮跡整備管理	55,567
飛鳥資料館運営	47,338
埋蔵文化財センター運営	42,687
新庁舎維持管理等経費	28,104
施設費	317,512
施設整備費	28,525
平城宮跡等整備費	279,400
各所修繕費	9,587
計	1,560,904

Ⅵ 施設

土地

奈良国立文化財研究所所管	47,889m <sup>2</sup>
(本庁舎)	8,860m <sup>2</sup>
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,514m <sup>2</sup>
{ 飛鳥資料館	17,092m <sup>2</sup>
郡山宿舍(二)	80m <sup>2</sup>
{ 飛鳥資料館宿舍	1,343m <sup>2</sup>
文化庁所管(関係分)	1,389,272m <sup>2</sup>

(平城宮跡地区)	1,075,299m <sup>2</sup>
{ 藤原宮跡地区	308,932m <sup>2</sup>
{ 飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m <sup>2</sup>

建物

1. 庁舎 23,980

区 分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
事務室	568	44	304	90		1,006
研究室	1,419		274	77		1,770
資料・図書室	1,021		36	36		1,093
会議室	338		58	42		438
講堂		384		89		473
展示室		844		648		1,492
写真室	79	256	87	64		486
覆屋・展示棟		1,686				1,686
車庫	84	200	259	94		637
倉庫・収蔵庫	123	5,109	2,144	480		7,856
研修棟	1,416					1,416
その他	1,745	2,666	118	1,062	36	5,627
計	6,793	11,189	3,280	2,682	36	23,980

2. 宿舍等	591m <sup>2</sup>
重要文化財旧米谷家住宅	213m <sup>2</sup>
郡山宿舍(一), (二)	153m <sup>2</sup>
飛鳥資料館宿舍	225m <sup>2</sup>

主要工事

(1) 施設整備費	千円
研修寄宿棟防災改修工事一式	28,525
(2) 平城宮跡地等整備費	
平城宮跡環境整備昭和62年度第Ⅰ期工事	95,000
〃 第Ⅱ期工事	62,000
〃 第Ⅲ期工事	38,500
平城宮跡覆屋地区便所等工事一式	59,000
藤原宮跡環境整備昭和62年度工事	5,000
(3) 官庁営繕費	
平城宮跡収蔵庫修繕工事(第一・二収蔵庫屋根改修)	32,442

(4)その他(各所修繕・試験研究費)

平城宮跡第3収蔵庫保存科学室改修工事一式

11,063

Ⅶ 人事異動

(1987.4.1~1988.3.31)

4月1日 庶務部会計課長に昇任 小川 照夫  
 庶務部庶務課課長補佐に昇任 石田 和樹  
 庶務部会計課課長補佐に昇任 川合 教博  
 庶務部会計課経理係長に昇任 黒坂 雅基  
 平城宮跡発掘調査部計測修景調査室長に昇任 高瀬 要一  
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 岩本 正二  
 庶務部会計課専門職員に転任 井元 正澄  
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部長に配置換 牛川 喜幸  
 庶務部庶務課長に配置換 赤羽 鉦一  
 埋蔵文化財センター保存工学研究室長に配置換 田中 哲雄  
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室に配置換 山岸 常人  
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第一調査室に配置換 深澤 芳樹  
 飛鳥資料館庶務室に配置換中西 建夫  
 文部技官(平城宮跡発掘調査部遺構調査室)に採用 浅川 滋男  
 事務補佐員(庶務部会計課)に採用 河村 京子  
 研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)に採用 角 浩行  
 研究補佐員(庶務部庶務課)に所属換 石川千恵子  
 福井工業高等専門学校庶務課長に昇任 筋 忠男  
 文化庁文化財保護部記念物課主任文化財調査官に昇任 安原 啓示  
 滋賀医科大学業務部医事課課長補佐に転任 福島 郁夫  
 大阪大学経済学部会計掛長に転任 山口 重治

奈良工業高等専門学校会計課に転任

刀谷 敏博

国立国語研究所庶務部庶務課長に配置換 松本 保之

6月1日 文部技官(平城宮跡発掘調査部計測修景調査室)に採用 小野 健吉

6月3日 辞職 高田 操子

6月30日 辞職 岩本 正二

7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 松本 修自

平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 西口 寿生

埋蔵文化財センター研究指導部主任研究官に昇任 肥塚 隆保

事務補佐員(庶務部会計課)に採用 中村 和美

9月30日 辞職 館野 和己

10月1日 庶務部長に昇任 廣瀬 了平  
群馬大学庶務部長に転任 伊藤 省三

文化庁文化財保護部記念物課に転任 松村 恵司

11月1日 辞職 永田 季子

12月1日 文部技官(平城宮跡発掘調査部史料調査室)に採用 村上 隆

文部技官(平城宮跡発掘調査部考古第一調査室)に採用 小池 伸彦

12月6日 辞職 角 浩行

1月1日 事務補佐員(庶務部会計課)に採用 植田よし子

3月30日 辞職 中村 和美

3月31日 辞職(定年退職) 東谷 久夫  
辞職 鬼頭 清明

Ⅷ 組織規定

文部省組織令 抜萃

昭和59年度政令第127号

昭和59年7月1日全部改正

第108条

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

国立文化財研究所(前後略)

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことがで



きる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

文部省設置法施行規則 抜萃

- 昭和28年 1月13日文部省令第2号
- 追加昭和43年 6月15日文部省令第20号
- 昭和45年 4月17日文部省令第11号
- 昭和45年 4月12日文部省令第6号
- 昭和49年 4月11日文部省令第10号
- 昭和50年 4月2日文部省令第13号
- 昭和51年 5月10日文部省令第16号
- 昭和52年 4月18日文部省令第10号
- 昭和53年 4月5日文部省令第19号
- 昭和53年 9月9日文部省令第33号
- 昭和55年 4月5日文部省令第14号
- 昭和55年 6月25日文部省令第23号
- 昭和58年10月1日文部省令第25号
- 昭和59年 7月1日文部省令第37号
- 昭和63年 4月8日文部省令第12号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所 (所長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。

(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

- 一 庶務課
- 二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

- 一 職員の人事に関する事務を処理すること。

二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。

三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

- 一 予算に関する事務を処理すること。
- 二 経費及び収入の予算その他会計に関する事務を処理すること。
- 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
- 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
- 五 庁内の取締りに関すること。

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれ

らの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に館長を置く。

2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

3 学芸室においては、次の事項をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及

び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。



5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究に客員研究員を置くことができる。

2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。

3 客員研究員は、非常勤とする。

職員 (1988年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当		
	鈴木 嘉吉	文部技官 所長			
庶務課	広瀬 了平	文部事務官 部長			
	赤羽 和樹	文部事務官 課長	長佐員長		
	石田 健三	文部事務官 課長	補佐員長		
	奥井 良治	文部事務官 課長	補佐員長		
	石田 義則	文部事務官 課長	補佐員長		
	森田 光治	文部事務官 課長	補佐員長		
	岡田 博先	文部事務官 課長	補佐員長		
	八幡 扶桑	文部技官 警務員	警務員(併任)		
	穴澤 雅子	文部技官 警務員	警務員(併任)		
	福本 悦子	文部事務官 補佐員			
	新宮 良子	文部事務官 補佐員			
	本中 惠子	文部事務官 補佐員			
庶務課	本中 宣代	文部事務官 補佐員			
	中川 かよ子	文部事務官 補佐員			
	中川 睦美	文部事務官 補佐員			
	西嶋 富美	文部事務官 補佐員			
	石川 千恵子	文部事務官 研究補佐員			
	庶務課	小川 照夫	文部事務官 課長	長佐員長	
		益田 朗	文部事務官 課長	補佐員長	
		川合 博康	文部事務官 課長	補佐員長	
		渡辺 康史	文部事務官 課長	補佐員長	
		井本 正澄	文部技官 課長	補佐員長	
		黒坂 雅基	文部事務官 課長	補佐員長	
		小林 敬子	文部事務官 課長	補佐員長	
本村 京子		文部事務官 課長	補佐員長		
植田 上博		文部事務官 課長	補佐員長		
西村 美司		文部事務官 課長	補佐員長		
岡本 安司		文部事務官 課長	補佐員長		
飯田 信男		文部技官 課長	補佐員長		
庶務課	小坂 紀子	文部事務官 課長	補佐員長		
	井元 雅子	文部事務官 課長	補佐員長		
	井元 正澄	文部事務官 課長	補佐員長		
	大西 秀和	文部事務官 課長	補佐員長		
	庶務課	宮本 長二	文部技官 課長	補佐員長	
		本松 修敏	文部技官 課長	補佐員長	
		島田 敏常	文部技官 課長	補佐員長	
		山岸 常人	文部技官 課長	補佐員長	
		本中 真淡	文部技官 課長	補佐員長	
		庶務課	加藤 優人	文部技官 課長	補佐員長
			上原 真芳	文部技官 課長	補佐員長
			深沢 樹義	文部技官 課長	補佐員長
橋本 正敏			文部技官 課長	補佐員長	
佐川 正広			文部技官 課長	補佐員長	
寺崎 保春			文部技官 課長	補佐員長	
堀池 康峰			文部技官 課長	補佐員長	

所属	氏名	官職	担当			
	町田 章	文部技官 部長				
考古第一調査室	金子 裕和	文部技官 部長	考古 古古			
	井上 小池	文部技官 部長	考古 古古			
	考古第二調査室	田辺 征夫	文部技官 部長	考古 古古		
		玉田 芳英	文部技官 部長	考古 古古		
		千野 淳	文部技官 部長	考古 古古		
		考古第三調査室	毛利 俊彦	文部技官 部長	考古 古古	
			佐川 正敏	文部技官 部長	考古 古古	
			小林 一謙	文部技官 部長	考古 古古	
			遺構調査室	上野 邦一	文部技官 部長	建築 建築
				高田 敏男	文部技官 部長	建築 建築
				川本 修自	文部技官 部長	建築 建築
				掘削調査室	高木 要一	文部技官 部長
小野 健吉					文部技官 部長	庭園 庭園
村岡 真直					文部技官 部長	庭園 庭園
史料調査室	綾村 宏保				文部技官 部長	歴史 歴史
	寺崎 隆				文部技官 部長	歴史 歴史
	庶務課				見田 啓三	文部技官 部長
		千野 淳			文部技官 部長	建築 建築
		小林 謙一			文部技官 部長	建築 建築
		西田 修三			文部技官 部長	建築 建築
		森岡 光治	文部技官 部長		建築 建築	
		岡八 扶桑	文部技官 部長		建築 建築	
		佃井 直夫	文部技官 部長		建築 建築	
		吉村 直司	文部技官 部長	建築 建築		

所属	氏名	官職	担当	
飛鳥資料館	牛川 喜幸	文部技官部	長	
	考古第一調査室	黒崎 直樹	文部技官室	長
		深沢 芳樹	文部技官室(併)	主任
	考古第二調査室	木下 正史	文部技官室	長
		岩水 三省	文部技官室(併)	主任
	遺構調査室	山本 忠尚	文部技官室	長
		山清水 真人	文部技官室(併)	主任
	史料調査室	川越 俊一	文部技官室	長
		立木 義則	文部技官室(併)	主任
	調査部	安田 龍太郎	文部技官主任	研究官
		大西 壽生	文部技官主任	研究官
		柿木 洋子	文部技官主任	事務主任
		平山 耕重	文部技官主任	事務主任
		宮川 幸子	文部技官主任	事務主任
	飛鳥資料館	鈴木 嘉吉	文部技官館長	(取扱)
		織田 健夫	文部事務官	長
	飛鳥資料館	中乾 藤本	文部事務官	主任
井藤 清敏		文部事務官	主任	

所属	氏名	官職	担当
飛鳥資料館	猪熊 兼勝	文部技官室	長
		文部技官主任	研究官
学芸室	山本 洋輔	文部技官	主任
		文部技官	主任
飛鳥資料館	大谷 照子	文部技官	主任
		文部技官	主任
飛鳥資料館	藤沢 一夫	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	田中 琢	文部技官	センター長
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	登り 悳哉	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	松永 恵子	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	佐原 真	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	松沢 亜生	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	工楽 善通	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	西村 康章	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	沢田 正昭	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	木全 敬蔵	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	伊東 敏夫	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	中山 拓真	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	光原 隆保	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	内田 繁	文部技官	主任
		文部技官	主任
埋蔵文化財センター	岩本 中	文部技官	主任
		文部技官	主任

